

請 願 一 覧

令和元年12月11日提出

請願 番号	受 理 年 月 日 件 名	要 旨	紹 介 議 員	付 託 委員会名
22	元.11.22 横浜市における教育予算の充実について	<p>1 児童生徒が安心して通える通学路を確保するためのスクールゾーン対策の充実等をされたい。</p> <p>2 学校設備の充実をされたい。</p> <p>3 中学校の美術、音楽、技術家庭科の正規職員を増員されたい。</p> <p>4 少人数指導や外国籍児童生徒に対する個別指導支援への人員増強等をされたい。</p> <p>5 教育文化センターに代わる施設を設置されたい。</p>	高橋のりみ 有村俊彦 望月康弘	こども青少年・教育
23	元.12.2 横浜市立中学校における給食の実施について	横浜市立中学校で学校給食法に基づいた給食を実施されたい。	大貫憲夫 井上さくら	こども青少年・教育
24	元.12.2 横浜市立小学校給食の直営存続等について	<p>1 安全で安心な給食をつくるために必要な数の栄養士や調理員を配置し、学校独自の献立やアレルギー対策の充実を図られたい。</p> <p>2 学校給食は直営で実施し、市として責任を持った対応をするとともに、食教育として充実・発展させられたい。</p>	大貫憲夫	こども青少年・教育

		<p>3 市立学校の給食費について無償とされたい。</p> <p>4 給食の食材については、地産地消を基本とし、輸入食品、残留放射能等の安全性を厳重にチェックされたい。また、食材は児童が喫食する前に全て検査されたい。</p>		
25	元.12.2 市予算による 少人数学級の 拡大等について	<p>1 横浜市独自の予算をつけて、少人数学級の拡大を図られたい。</p> <p>2 横浜市の独自予算で教員をふやされたい。</p> <p>3 小学校、中学校、高等学校の全学年で30人学級を実施するように、県・国に強く働きかけられたい。</p>	大貫憲夫 井上さくら	こども青少年・教育
26	元.12.2 保育・子育て 支援施策の拡 充等について	<p>1 児童福祉法第24条第1項の市町村の保育実施責任を、認可、無認可を問わず、全ての保育施設・事業の基本とされたい。また、どの子ども等しく豊かな保育が受けられるよう、認可外施設の認可移行や、施設環境充実のための予算を増額されたい。</p> <p>2 待機児童と保留児童を解消されたい。</p> <p>3 給食は子供の命を保障するものであり、保護者の給食費の実費負担をやめ、横浜市の負担とされたい。</p> <p>4 保育所で働く職員が安心して働き続けられる賃金や労働環境を保障されたい。</p>	荒木由美子	こども青少年・教育

		5 横浜市保育所の保育士配置基準を、民間基準に引き上げられたい。		
27	元.12.2 カジノ誘致の 反対について	カジノ誘致を反対されたい。	荒木由美子	建築・都市整備・道路